

血液検査項目の簡単な説明

2021・12

	検査項目	測定意義
肝臓機能	AST (GOT)	肝臓、心筋(心臓の筋肉)、骨格筋に含まれる酵素でこれらに障害があると上昇します。
	ALT (GPT)	肝臓に多く含まれる酵素で、急性肝炎、慢性肝炎、脂肪肝(肥満)などで上昇します。
	γ -GTP	胆道障害、アルコール性肝炎等で上昇します。飲酒習慣者は高値を示します。
	ALP	肝胆道障害、骨疾患で高値を示します。小児>成人
	LD (LDH)	すべての細胞に存在する酵素で、肝疾患、心筋梗塞、筋疾患、悪性腫瘍等で高値を示します。
	ChE (コリンエステラーゼ)	肝疾患(慢性肝、肝硬変等)で低下し、有機リン中毒で活性が阻害されます。脂肪肝、糖尿病、ネフローゼ症候群、甲状腺機能亢進症で高値になります。
	アミラーゼ	膵臓疾患、耳下腺炎等で高値になります。
	T-BiL (総ビリルビン)	黄疸の種類や肝・胆機能障害の指標となります。(直接BiLと総合的に判断されます)
	D-BiL (直接ビリルビン)	肝胆道系疾患で高値になります。
	NH ₃ (アンモニア)	肝機能障害を疑うときに行います。肝性昏睡で高値になります。
心臓機能	AST (GOT)	肝臓、心筋(心臓の筋肉)、骨格筋に含まれる酵素でこれらに障害があると上昇します。
	LD (LDH)	すべての細胞に存在する酵素で、肝疾患、心筋梗塞、筋疾患、悪性腫瘍等で高値を示します。
	CPK	心筋・骨格筋等の筋肉の障害で値が上昇します。運動後も上昇します。
	CPK-MB	急性の心筋梗塞など心筋障害により上昇します。心筋障害の診断と経過を調べます。
	トロポニン-T	急性の心筋梗塞で陽性になります。不安定狭心症、心筋炎、高度腎不全でも陽性になる場合があります。
腎臓機能	BUN (尿素窒素)	腎臓の病気の疑いがあるときに行います。重症の心不全・脱水症で高値に、重症肝機能障害で低値を示します。
	CRE (クレアチン)	腎臓の病気の疑いがあるときに行います。筋肉量に比例するので男>女、スポーツ選手も高めになります。
	UA (尿酸)	痛風で上昇します。高血圧、高脂血症などの二次性の尿酸異常が疑われるときも検査します。
状態 栄養	TP (総蛋白)	栄養不良、肝機能障害等で低値を示します。
	ALB (アルブミン)	栄養不良、肝硬変、ネフローゼ等で低値を示します。脱水症で高値を示します。
糖代謝	GLU (血糖)	おもに糖尿病のスクリーニング検査として行います。低血糖(70以下)高血糖(400以上)は緊急の処置を要します。
	GA (グリコアルブミン)	糖尿病の経過観察に用い、過去約2週間の平均血糖値を反映します。
	HbA _{1c} (ヘモグロビンA _{1c})	糖尿病の診断・経過観察に用い、過去約1~2ヶ月の平均血糖値を反映します。
脂質検査	T-ChO (総コレステロール)	体内になくてもならないものですが多すぎると動脈硬化をひき起こします。
	TG (中性脂肪)	肥満、食べ過ぎ、運動不足、飲酒等で高値になります。健康でも食後は高くなります。
	HDL-C (HDL コレステロール)	動脈硬化を防ぐ働きをするコレステロールです。善玉コレステロールと呼ばれています。喫煙で低下します。
	LDL-C (LDL コレステロール)	高値になると動脈硬化が進みやすくなり、悪玉コレステロールと呼ばれています。
電解質	Na・K・Cl	水分調節や代謝調節に重要な役割をしています。Kは腎不全や心筋梗塞などで高値になります。
	Ca・P	腎疾患や副甲状腺機能を調べる検査です。CaはビタミンD欠乏で低値に、悪性腫瘍骨転移で高値になります。
炎症反応	CRP	急性の炎症や組織の損傷により上昇します。感染症が疑われる場合も検査します。
	白血球	体外の異物の侵入を退治する働きがあります。よって数が上昇している場合は体のどこかで炎症が起きたり病原菌が侵入していることを示します。

	検査項目	測定意義
甲状腺機能	TSH(甲状腺刺激ホルモン)	甲状腺機能を調べます。
	FT ₄ (遊離サイロキソン)	甲状腺機能亢進症(バセドウ病):TSH(↓)FT ₄ 、FT ₃ (↑)
	FT ₃ (遊離トリヨードサイオン)	甲状腺機能低下症(橋本病):TSH(↑)FT ₄ 、FT ₃ (↓) などがわかります。
血液一般検査	RBC(赤血球)	赤血球は人が生きていく為に必要な酸素を全身に運ぶ働きをしている細胞で、貧血の有無がわかります。
	WBC(白血球)	細菌やウイルスなどから身体を守る働きをします。そのため血液中に増えると何らかの感染症や炎症が疑われます。
	HCT(ヘマトクリット)	血液に占める赤血球の容積の割合を%で示した値です。
	HGB(ヘモグロビン濃度)	ヘモグロビンの不足を貧血と呼び、貧血などがわかります。
	PLT(血小板数)	血液を固める役割を持つ血小板の数です。少なくなると出血しやすくなったり出血が止まりにくくなったりします。
赤血球恒数	MCV(平均赤血球容積)	血液中の赤血球一個の平均的な大きさを表し、貧血の分類に用いられます。
	MCH(平均赤血球色素量)	血液中の赤血球一個に含まれる平均的なヘモグロビンの量を表し、貧血の分類に用いられます。
	MCHC(平均赤血球色素濃度)	血液中の赤血球一個に含まれる平均的なヘモグロビンの濃度を表し、貧血の分類に用いられます。
凝固検査	PT (プロトロンビン時間)	血液が固まりにくくなるとこの時間が長くなります。%表示はプロトロンビン時間を活性%で表したもの、INR 表示はワーファリンを用いた抗凝固療法の指標となります。
	APTT (活性化部分トロンボプラスチン時間)	血液が固まりにくくなるとこの時間が長くなります。
	Fib (フィブリノーゲン)	フィブリノーゲンが減少すると血液が固まりにくくなります。また、フィブリノーゲンが増加する病気の経過観察にも利用されます。
尿	尿試験紙	尿試験紙検査は、健常人尿では出現しないか、出現しても少量の物質(蛋白・糖・赤血球・白血球・細菌など)の出現状況から、腎・尿路系の疾患を知ることができます。

※ 測定意義は一般的な解釈です。基準値と比べて高い場合や低い場合でも即、病気ということではありません。

※ 検査の判定は、身体症状や経過観察、その他の検査等を含めて総合的に医師が判断します。

ご不明な点は主治医にお尋ねください。